市民ネットワーク・ふなばし通信

2022年10月

連絡先：船橋市東船橋 4-29-2-105　代表：麻生修子
Tel 047(426)8321　Fax 047(426)8322
siminnet.funabashi@ninus.ocn.ne.jp　http://funabashinet.jp

facebook はこちら

2005年から開催している 原爆の絵展　今年も開催しました

毎年広島の平和記念資料館から体験者が描いた絵をお借りして開催している「原爆の絵展」、今年は例年より多くの方に足を運んでいただきました。今回の絵には説明書きが書かれていて、みなさんがそれを読みながらじっくりご覧になっている姿が印象的でした。

おひとりでいらしていた高齢の男性は、「原爆投下当時広島に住んでいた従弟から聞いていた町や川の名前が書いてあり、従弟はどれだけ辛かった思いをしたことか、自分は何もしてあげることができなかった」と涙ぐみ、「戦争は絶対してはいけない。若い皆さんが語り継いでください」とおっしゃっていました。

当時のことを思い出すのは苦しいけれど、今描かなくては、と最近になって筆をとる被爆者の方がいると聞きました。私たちはそういう方たちの想いを無駄にしてはいけないと強く思いました。(藤原K.T)

8月6～7日　船橋市勤労市民センター

国葬に反対する街宣活動に参加

8月31日夕方、千葉駅前で開催した市民ネットワーク千葉県主催「『国葬』に反対する街宣活動」にふなばしネットから4名が参加しました。千葉各地の市民ネットに加え多くの個人・団体が集まり千葉テレビ・朝日新聞・東京新聞などでも報道されました。

国会正門前で同時に開催された「安倍元首相『国葬』反対！8・31大行動」に連帯し行われましたが、国会前には約4000人が集まったとのことです。それ以外にも全国各地で抗議の声が上がっています。

国葬に法的根拠がないこと、国会審議を経ず閣議決定されたこと、特定の個人の葬儀を税金で執り行うことは憲法違反であること、安倍氏への評価がさまざまなこと、国民の過半数が反対していることが反対の理由です。朝日新聞の全国世論調査（9/12報道）では国葬反対が国民の56%までになっています。街宣ではチラシを配布し国葬中止署名への賛同も呼びかけました。

市民ネットワーク千葉県は千葉県知事に国葬に出席しないように要請しました（9月15日）。国民の反対を押し切っての国葬は国民の不信を高め将来にも禍根を残すものとなるでしょう。（海神Y.S）

定期的なイベント

★ネット市 ～ 服や雑貨などのリサイクル品の販売、読み終えた本の交換市を開催しています。

10月26日（水）　11月30日（水）　12月21日（水）　10：30～13：00

★暮らしの相談 ～ 暮らしのなかの困りごと話してみませんか？まきけいこが元市議の経験を踏まえてお話をお聞きします

10月12日（水）　11月 9日（水）　12月14日（水）　10：30～13：00

市民活動を応援

市民ネットワーク千葉県「元気ファンド」

暮らしの中のいろいろな問題を解決するのは政治の役割であり、市民ネットは地域の声を届けるために仲間を議会に送り出しています。一方、自発的な市民活動で地域に必要な仕組みを作り出すことも、問題解決にはとても有効な手段です。そこで市民ネットワーク千葉県は、所属する議員の議員報酬の一部を活用して市民活動を財政的に応援する「元気ファンド」を運用しています。

1団体の上限20万円総額100万円という規模の助成ですが、2004年から昨年まで、75件の市民活動に約2600万円を助成してきました。

東日本大震災後の4年間は被災者に向けた支援活動を行う団体を対象とするファンドを別途立ち上げ、電話による聞き取りなどで23団体1378万円の助成を行いました。助成金のうち約300万円は会員や市民からの寄付によるものでした。

コロナ禍で様々な活動が制限された一昨年は「反貧困ささえあい千葉」に緊急的に助成、昨年はコロナ禍での活動をする団体を対象として助成を行いました。今年はジャンルを問わずに地域課題に取り組む県内の団体を対象に9月末まで募集を行い、外部審査員による公開審査を経て、11月に助成団体が決定します。

船橋市内では、これまで5つの団体が助成を受けました。民間学童保育、民間図書館、障がい者の仕事支援、DV被害者支援、フードバンクとその分野は多岐にわたります。それらの団体と市民ネットの連携は助成後も継続し、政治課題の解決に向けた政策提案に繋げています。（前原東K.M）

オスプレイが頭上を飛ぶ！？
根本的欠陥を解決せずに飛行再開

8月16日、４種類のオスプレイのうち、米空軍仕様のCV-22全機に飛行停止命令が出ました。これは飛行中に墜落に繋がりかねない構造的な不具合が発生したためです。木更津基地に9機配備されている陸自のV-22も基本的に同じ構造であることを防衛省も認め、V-22も飛行停止となりました。しかし、9月2日、米空軍はその原因を究明することなく、パイロットの教育訓練強化などで対応するとして飛行を再開し、防衛省も米側の説明を合理的と判断し、7日に飛行を再開させました。

V-22は習志野演習場への飛来が予定されています。欠陥機の飛行強行は住民の生命と安全を軽視するものです。（高根台H.Y）

地域で活動する人たち

おとなも子どもも集う地域の輪づくり
「ハレカフェ」

ららぽーとや親水公園のそばの浜町商店街に「ハレカフェ」があります。NPOコハレＬＡＢＯが運営する喫茶店で、マスター牛垣さんのワンオペで、同時に船橋の子ども食堂ネットワーク事務局もしていて大忙しです。店が小学低学年の見守りに役立っているのは、下校時の子が「ただいま、マスターお水ください」「マスター、トイレ貸して」など次々立ち寄る姿から明らかです。

毎週木曜日は18時から子ども食堂「ハレカフェナイト」を開催しています。登録ボランティアは50人以上で、100食以上提供するお弁当作り、配膳、受け渡しをしていて、男性学生が多く見受けられるのが特徴かもしれません。親子や子育てママさん応援企画、七夕などの季節に応じた各種イベントも盛んに開催しています。

7月選挙時には、初めて投票に行った若者にドリンク1杯をサービスして、若者の投票を促しました。

ボランティアさんは増えているのに、運営管理やコーディネータの人手不足が深刻なのは、NPOに共通する問題点です。支援物資の食料や雑貨が数多く届くのは嬉しいですが、管理のための場所、電気代などの支出を補うのが大変で、ボランティアさんへの交通費くらいは支給したいというのが、目下の悩み事。

地域の輪づくりに、一度足を運んでみてはいかがでしょう。（浜町H.I）

ダンディーな
マスター

子ども食堂では
100食以上の
お弁当を提供

市民ネットワーク3つのルール

1 選挙はカンパとボランティアで

2 議員報酬は市民の活動に

3 議員ローテーション制

議員ローテーション制は、議員を職業化・特権化せず、市民参加を拡げるための仕組みです。任期を終えた議員が地域活動に携わることで、参加型　政治をすすめ、政治文化を変えていきます。

会員募集

年4回、「市民ネットワーク・ふなばし通信」、「市民ネットワーク千葉県情報紙」、イベント情報などをお送りします。

年会費 2000円 ゆうちょ銀行 00170-8-282602